



2020年7月24日
カトリックさいたま教区 司教
マリオ 山野内 倫昭

新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応について (第10次)

主日のミサの段階的な再開から1か月を経過いたしました。寄せられた報告を見ますと、ほとんどの教会ではほぼ順調に再開が進んでいますが、まだ再開できない教会、さらには、第2波の開始を思わせるような感染拡大の現況などのため、再開したものの、やむなく、再度、休止することとなった教会など、状況は様々です。この間、高齢者の皆様には、「いのちを守ることを優先した」とは言え、依然としてミサに与っていただけない状況の中で祈りを続けてくださっていますこと、心から感謝申し上げます。

しかし、残念ながら、新型コロナウイルスの感染の勢いは終息するどころか再び急速な勢いで強まろうとしています。各教会からのご報告に加えて、司祭の皆様のご意見を伺い、教区としては、当面、基本的には現在の対応を継続することにいたしました。すべての教会で、以前と同じように安心して主日を祝い、また秘跡に与れる日が必ず来ることを信じながら、ここは気を緩めることなく、皆さんと忍耐強く歩んでいきたいと願っております。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

8月31日まで、対応 (第9次) を続けます

(付記1) 引き続き、特に注意をしていただきたい事柄については別途 神父様に
お願いをいたしました。ご指導がありましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。

(付記2) 主日のミサの司教の説教は教区のホームページに毎週載せてあります。お役に立てば幸いです。掲載は週明けに、言語は、日本語、英語、スペイン語の3か国語です。

アヴェ・マリア!